

## Buffalo（バッファロー）赤外線リピーターマニュアル

赤外線（IR）リピーターは AV 機器等で使われる赤外線リモコンからの信号を受信して、赤外線リモコンからの信号が直接届かない場所ーキャビネット内や別の部屋に設置されている AV 機器まで有線で赤外線信号を伝え、操作するための装置です。

Buffalo（バッファロー）赤外線リピーターには、**接続ブロック（F8100）、赤外線エミッター（F8282）、パワーサプライ（F8781）**が必要ですので、別途お求めください。

- **リピーターと接続ブロックは別ケーブルで結線必要**

また、赤外線リピーター本体と接続ブロックを接続するケーブルは付属せず、一般の 3 線ケーブルを利用して結線する作業が必要になります（下記配線図参照）。この用途には、ネットワーク配線に使用される CAT5 ケーブルが入手しやすいため、よく利用されます。弊社でも CAT5 ケーブルを販売しています。

- **13mm 径の穴に設置**

赤外線リピーター本体は、壁面やキャビネットに直径 13mm の穴を空けて設置します。

前面のレンズキャップを回して外し、本体を裏側から壁穴に通し、前面のレンズキャップと留めネジ部の間に壁面を挟み締め付けて固定します。

レンズキャップは透明と黒の 2 種があり、インテリアに合わせてどちらかを使用してください。（黒のキャップはリモコン信号を通します。）

- **光学ノイズフィルター**

室内には常に、日光、蛍光灯、テレビからの赤外線ノイズが存在して、赤外線リピーターは不特定多数のリモコン信号を受信する必要から、赤外線ノイズがリモコン信号受信の障害になることがあります。

本製品には、赤外線ノイズ成分を低減させる 2 種の光学ノイズフィルターとして、Disk#1:2 枚、Disk#2:2 枚が付属しています。

リピーター本体は、リモコン信号受信部の LED が発光して、信号受信を確認することができます。もし、リモコンを使用していない時にも LED が発光しているようなら、定常的に赤外線ノイズを受信していて、リモコン信号を正しく AV 機器に送信する障害になることがあります。その際にノイズフィルターを利用するとノイズの受信を低減して安定したリモコン操作が期待できます。

ノイズフィルターの Disk は、前面レンズキャップの中に入れて使用します。

下記の表を参考に使用するノイズフィルターを必要に応じて選んでください。

ノイズレベル		フィルターDisk#1	フィルターDisk#2
↓	低	1	0枚
		2	1枚
		3	0枚
		4	1枚
	高	5	2枚

通常、フィルターを利用しなくても正常に動作しますが、念のためとりあえず、Disk#1 か Disk#2 のどちらか1枚を使用することをお勧めします。

